

用日语讲的

中国民间故事

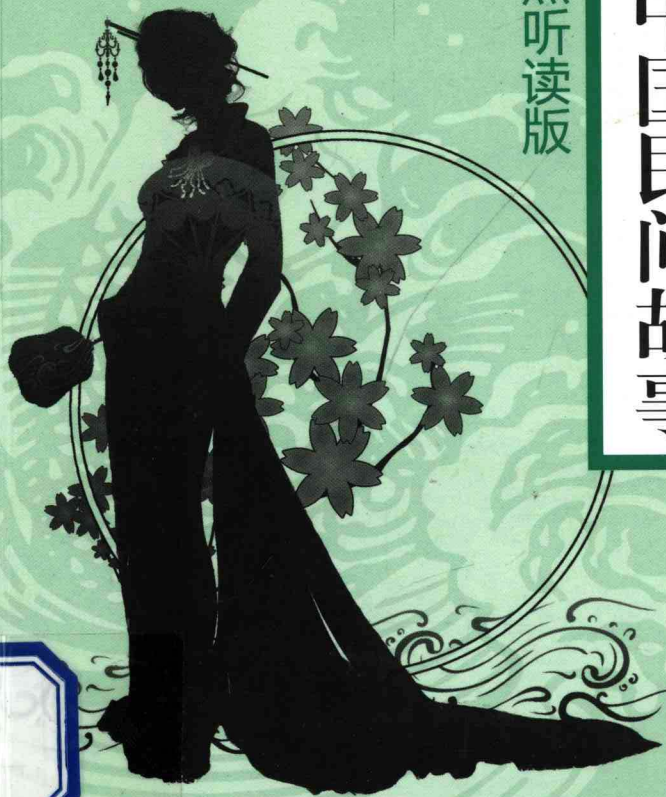
日汉对照听读版

刘德润 刘淙淙 尚学艳 编著

[日]川边城 朗读

刘淙淙 插画

愿每一位学习日语的学生和日语工作者
都能用流利而准确的日语
向日本朋友、大众
宣传中国的文化传统和历史



中国宇航出版社

↓ 全书高清
音频文件
免费下载

用日语讲的

中国民间故事

日汉对照听读版

刘德润 刘淙淙 尚学艳 编著

[日]川边城 朗读

刘淙淙 插画



中国宇航出版社

· 北京 ·

版权所有 侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

用日语讲的中国民间故事：日汉对照听读版 / 刘德润, 刘淙淙, 尚学艳编著. -- 北京：中国宇航出版社, 2012.5

ISBN 978-7-5159-0198-5

I. ①用… II. ①刘… ②刘… ③尚… III. ①日语—听说教学—高等学校—教学参考资料②日语—阅读教学—高等学校—教学参考资料 IV. ①H31

中国版本图书馆CIP数据核字(2012)第080579号

策划编辑 于慧

封面设计 文道思

责任编辑 于慧

责任校对 王广辉

出版

发行

中国宇航出版社

社址 北京市阜成路8号 邮编 100830

(010)68768548

网址 www.caphbook.com

经销 新华书店

发行部 (010)68371900 (010)88530478(传真)

(010)68768541 (010)68767294(传真)

零售店 读者服务部 北京宇航文苑

(010)68371105 (010)62529336

承印 北京中新伟业印刷有限公司

版次 2012年5月第1版 2012年5月第1次印刷

规格 880×1230 开本 1/32

印张 10.5 字数 302千字

书号 ISBN 978-7-5159-0198-5

定价 24.80元

本书如有印装质量问题, 可与发行部联系调换

前言

我们学习日语，必须同时学习日本的历史文化、社会国情。与此同时，我们更应该学好中国的语言、历史，熟悉丰富多彩、博大精深的中国文化传统。作为一名研究日本文化多年的教育工作者，我希望每个学习日语的学生和日语工作者，都能够用流利而准确的日语向日本朋友宣传、介绍中国的文化传统和历史。

学习中国和日本的历史文化，我们会发现，自古以来，中国和日本这两个国家、两种文化就有着悠久的交流史。特别是在日本，我们会发现中国文化的影响无处不在。

参观奈良的正仓院博物馆，或是东京上野的国立博物馆，目睹那一件件熟悉而又陌生的文物，我们会深切体会到，这里才是丝绸之路的东方终点。

走进镰仓江之岛的神秘山洞，你会惊喜地发现，洞中灯光昏暗，赫然栖息着一条巨大的龙（模型）。这里的人们自古就会向龙王祈雨。龙文化遍布全日本。

当你漫步在京都、奈良的古老小巷与古寺时，你会发现在风中叮当作响的那个风铃，是那样地似曾相识。它是挂在敦煌古寺屋檐下，迎着漫天风沙摇晃作响的那个风铃吗？还是西南边陲茶马古道上的小镇驿站门前，已经向路人倾诉了千年的那个风铃？抑或是杏花春雨的江南，酒楼上酒旗潏然，酒入愁肠，催下游子几行思乡之泪的风铃？还是西安唐代大明宫遗址出土的那个锈迹斑斑的风铃呢？这风铃声曾多少次在我们的梦中萦回。自从在岛国聆听了风铃的呓语，我的梦境变得更加渺远。

牛郎织女的民间故事，传到日本之后，化成了《万叶集》中的一百多首和歌，演变成了富有日本特色的传统节日七夕。从江户时代（1603—1867）起，七夕就成了日本民间的一个重大节日。明代冯梦龙的短篇小说《白娘子永镇雷峰塔》

和遍布全国的舞台戏剧《白蛇传》，在这里成了日本国戏歌舞伎的传统剧目《道成寺》，也化成了江户时代的志怪小说《雨月物语》中的名篇《蛇性之淫》。

上世纪80年代初至90年代中期，我应邀分别在大阪府《柏原市广报》和鸟取县《日本政经新闻》上开设专栏，介绍中国悠久的历史、文化和当今中国人民的生活，两个专栏都历时十余年。这次编写本书时，特别是传奇人物部分，采用了一些当年自己写的文章。而其余的大部分文章出自日本学者之手。为了使文章浅显易懂，便于学生阅读和导游时使用，我对自己和日本学者的文章都进行了改写。而本书所有课文的日文部分均经过本书顾问——中岛节先生和宇野雄二先生的审核与润色。

本书可供日语专业2、3年级学生课外阅读，加强口语表达能力，也可以作为日语方向旅游专业的教材，或是过级考试的辅助阅读教材。本书分为4个单元，共选入了40篇课文，根据由浅到深、由易到难的原则编排。每篇都由日文原文、中文译文、注释、语法重点、文化链接5部分构成，语法重点主要讲授日本国际交流基金举办的“日语能力考试”N1语法、N2语法中规定的语法与句型。本书对每项语法都进行了详细的解说，附有浅显易懂的例句。例句全部出自中日两国出版的几种权威辞典和语法书，以及今年最新的日本报刊，还从《学研国语大辞典》中选取了近代日本文学作品中的精典例句。文化链接则介绍了与本文有关的历史文化背景知识和中日文化交流知识。我们曾将本书中的文章打印出来，分别请河南师范大学和新乡学院的日语专业2年级和3年级的部分中等程度的学生阅读，请他们划出感觉难懂的单词和语法。这样，我们在编写词汇和语法注释的时候就有了依据，力求对症下药，为学生排忧解难。

本书第一部分为民间故事。收入了以《牛郎织女》为首的中国四大民间故事，一共10课。“民间故事由口头传承，反映了古代人民的社会和家庭生活，寄托着古代人民的情感、心愿和梦想。民间故事分为两大类，一是富于幻想成分的故事，二是记录了有关乡土、地名、人物的故事和传说。民间故事往往成为后来的文学家创作的源泉之一。”（谷山茂. 日本文学史辞典. 京都书房，527页）有的中国民间故事传到日本之后，由于不同的文化背景、地理与风土环境的影响，

自然会发生一些变化。因此日文版的中国民间故事与原来的中文版本会略有不同。本书的神话故事以我国的最流行、最权威版本为准，对日文原文做了一些修订。

第二部分为传奇人物。这些人物虽然大都是历史上的真实人物，但是，他们的事迹已经被历代的民众传奇化、神秘化。这种变化之中，寄托着广大民众的愿望与期待。特别是面对天灾人祸时，民众渴望着有拯救万民的英雄出现。《竹林七贤》涉及人物较多，故分为上下两课。

第三部分为远古神话。在《三皇五帝》一文中，共出现了8个人物，因此也把它分成了上、下两部分。日本学者，立命馆大学教授白川静（1910—2006）说：“人类在数十万年中，通过生活创造出来的最大的一笔遗产就是神话。在神话时代，神话是现实的根据，是支撑着现实秩序的原理。人们按照神话之中讲述的原理来生活。在那个时代，所有的重要生产和生活，都将神话的事实作为礼仪来重复，将神话在现实生活中重现出来。”（白川静·汉字·岩波新书，第2页）这句话深刻地分析了神话的本质与历史作用，适合于世界上不同民族的各种神话。

中国神话往往呈现出众说纷纭、互相矛盾的局面，本书以中国社科院考古所殷玮璋教授的新著《图说天下》第一册中的神话故事为主要参考和依据。

本书最后一部分，则选自日本的著名中国学专家、翻译家立间祥介（1928—）和相模女子大学教授志村有弘（1941—）分别翻译的日文版《聊斋志异》、《聊斋志异中的鬼怪》两本书。聊斋故事生动传神，引人入胜。特别是几篇深受广大读者欢迎，又拍成了电影和电视剧的故事篇幅都较长。为了方便学生阅读，本书在保持故事情节完整和生动的前提下，将故事尽量压缩，删去了一些次要人物和情节。聊斋故事中的最后三篇，特意分为上、下两部分，这样，7篇故事就分成了10课。

本书中的日文原文部分和中文译文部分由刘德润、刘淙淙执笔。尚学艳担任了词汇注释、重点语法解说，以及部分文化链接的写作，执笔字数超过了6万字。全书由刘德润最后统稿。

担任本书顾问的中岛节先生是日本女作家，生于三重县，毕业于皇学馆大学国文学系。1988年获得三重县文学新人奖，第四届地方文学奖，1995年获得第五次小谷刚文学奖，2005年获得三重县文化奖励奖。

宇野雄二先生，毕业于国立静冈大学文学部，三重县工业高校国语教师，目前担任三重县国语教育会会长。

衷心感谢中国宇航出版社的于慧编辑为本书的策划、出版而付出的辛勤努力。感谢她在我的写作过程中，不断为我提出宝贵而中肯的建议，并且与我一起对译文细心地逐字推敲。特别是在将《聊斋志异》的原文与日文译本逐字对照中，发现了几处译者的误译与谬误，我们都一一作了订正。

本书特聘请专业的日本录音师，为日文原文部分全文倾情朗读配音，希望读者朋友能在模仿的过程中，逐渐达到背诵、复述的效果。具体的下载地址参见封底。

欢迎广大读者、同行提出批评与宝贵意见。

2011年金秋10月于牧野古乡

刘德润

联系信箱：liude302@yahoo.com.cn

目 录

第一部分 民间故事十讲

- 1 うし か おりひめ
牛郎织女 —— 盈盈一水间，默默不得语 \ 002
- 2 じよう が つき はし
嫦娥奔月 —— 邈邈星河夜，寂寂广寒宫 \ 010
- 3 もうきようじよ ちようじよう な くず
孟姜女是长城を泣き崩す
孟姜女哭长城 —— 血泪如雷霆，哭倒秦长城 \ 018
- 4 ふ ざんしんじよ
巫山神女 —— 痴情何所寄，空有云雨飞 \ 026
- 5 はくじやでん
白蛇伝
白蛇传 —— 西湖传佳话，蛇灵情意深 \ 034
- 6 りようざんはく しゆくえいだい ちよう か
梁山伯と祝英台、蝶と化す
梁祝化蝶 —— 真情感天地，彩蝶比翼飞 \ 042
- 7 た にしようにぼう
田螺女房
田螺妻子 —— 可叹姻缘薄，匆匆去无踪 \ 050
- 8 ねん ちうらい
「年」の由来
“年”的由来 —— 万家驱怪兽，爆竹震天鸣 \ 056
- 9 もくらん ぐん しが
木兰、軍に従う
木兰从军 —— 巾帼有英豪，女子胜于男 \ 064
- 10 く こう やまうつ
愚公の山移し
愚公移山 —— 祖孙齐上阵，誓叫大山移 \ 072

第二部分 传奇人物十讲

- 1 とこう さけ つく
杜康、酒を造る
杜康造酒 —— 美酒飘香醉万家 \ 078
- 2 かんしん ひ かん
諫臣の比干
谏臣比干 —— 赤胆忠心照千秋 \ 086
- 3 せいし けいこく
西施、傾国
西施倾国 —— 五湖泛舟天地间 \ 092
- 4 しん い か だ
神医華佗
神医华佗 —— 医圣含冤天地悲 \ 100
- 5 らくすい めがみ
洛水の女神
洛神 —— 人鬼殊途两依依 \ 110
- 6 ちくりんしちけんじん じょう
竹林七賢人（上）
竹林七贤（上） —— 清谈亦招杀身祸 \ 118
- 7 ちくりんしちけんじん げ
竹林七賢人（下）
竹林七贤（下） —— 谁能浊世留清名 \ 124
- 8 だる ま ちようこう わた
達磨、長江を渡る
达摩渡江 —— 洞中面壁悟禅机 \ 130
- 9 げんじょう きょう もと
玄奘、お経を求める
玄奘取经 —— 云山瀚海八万里 \ 138
- 10 ほうこう だんせつ
包公の伝説
包公传说 —— 铁面无私斩驸马 \ 146

第三部分 远古神话十讲

- 1 ばん こ てん ち ひら
盘古、天地を開く
盘古开天地 —— 浩浩宇宙阔，煌煌万古功 \ 154
- 2 じょ か てん おごな
女娲、天を補う
女娲补天 —— 天崩地裂时，救我华夏民 \ 160
- 3 りゅう でんせつ
龍の伝説
龙的传说 —— 东方有巨龙，今朝更腾飞 \ 168
- 4 さんこう ごてい じょう
三皇五帝（上）
三皇五帝(上) —— 探中华文明，访神州大地 \ 176
- 5 さんこう ごてい げ
三皇五帝（下）
三皇五帝(下) —— 仰人文始祖，瞻万世楷模 \ 184
- 6 だい う みず おさ
大禹、水を治める
大禹治水 —— 沧海横流激，神州出圣贤 \ 192
- 7 せい えい うみ うず
精衛、海を埋める
精卫填海 —— 世代衔木石，不信海难平 \ 200
- 8 そうけつ じ つく
倉頡、字を造る
仓颉造字 —— 文明现曙光，字成泣鬼神 \ 208
- 9 せいおう ぼ
西王母
王母娘娘 —— 浩淼瑶池畔，仙乐绕昆仑 \ 216
- 10 そんごくう てんぐう さわ
孫悟空、天宮を騒がす
孙悟空大闹天宫 —— 神勇孙大圣，屹立天地间 \ 224

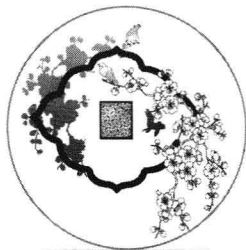
第四部分 聊斋故事十讲

- 1 へき が おんな
壁画の女
画壁——幻象皆由自心生 \ 234
- 2 もも めす
桃を盗む
偷桃——偷天奇术叹观止 \ 242
- 3 ろうざん どうし
劳山道士
劳山道士——凡心未尽难成仙 \ 250
- 4 しんじゅう し じょう
辛十四娘
辛十四娘——狐妻舍命救夫君 \ 260
- 5 ば かわ じょう
化けの皮 (上)
画皮 (上)——路遇美人生歹念 \ 270
- 6 ば かわ げ
化けの皮 (下)
画皮 (下)——色字头上一把刀 \ 278
- 7 じょうしゅうせん じょう
聂小倩 (上)
聂小倩 (上)——书生用功入古寺 \ 286
- 8 じょうしゅうせん げ
聂小倩 (下)
聂小倩 (下)——倩女幽魂几度来 \ 296
- 9 れんじょう じょう
连城 (上)
连城 (上)——郎才女貌偏多难 \ 306
- 10 れんじょう げ
连城 (下)
连城 (下)——死生不渝人鬼情 \ 314

参考文献 \ 326

原书缺页

第一部分 民间故事十讲



- 1 うしか おりひめ
牛郎织女 —— 盈盈一水间，默默不得语
- 2 じようが つき はし
嫦娥奔月 —— 邈邈星河夜，寂寂广寒宫
- 3 もうきようじよ ちようじよう な くず
孟姜女は長城を泣き崩す
孟姜女哭长城 —— 血泪如雷霆，哭倒秦长城
- 4 ふ ざんしんじよ
巫山神女 —— 痴情何所寄，空有云雨飞
- 5 はくじゃでん
白蛇伝
白蛇传 —— 西湖传佳话，蛇灵情意深
- 6 りようざんはく しゆくえいだい ちよう か
梁山伯と祝英台、蝶と化す
梁祝化蝶 —— 真情感天地，彩蝶比翼飞
- 7 た にしにようぼう
田螺女房
田螺妻子 —— 可叹姻缘薄，匆匆去无踪
- 8 ねん ゆらい
「年」の由来
“年”的由来 —— 万家驱怪兽，爆竹震天鸣
- 9 もくらん ぐん しが
木蘭、軍に従う
木兰从军 —— 巾帼有英豪，女子胜于男
- 10 ぐ こう やまうつ
愚公の山移し
愚公移山 —— 祖孙齐上阵，誓叫大山移

邈邈星河，
滚滚波涛。
苍天有眼，
何来灾祸？
善良百姓，
怀抱着安居乐业之梦。

1

うしか おりひめ 牛飼いと織姫

おおぞら なが あま がわ ひがし うつく ほし にし おお ほしひと
大空を流れる天の川^①の東に、美しい星があり、その西にも大きな星一
つと小さい星二つあります。それは天の川に隔てられている織姫、牛飼
いと二人の子供だと言われています。

でんせつ おりひめ てんてい むすめ しちにん しまい すえむすめ しまい
伝説によれば、織姫は天帝の娘で、七人の姉妹の末娘です。姉妹たち
はみんな機織の名手だったそうです。この中で織姫が一番聡明で、手先
が器用です。一方、人間界に牛飼いという若者が住んでいます。牛飼い
はいつとう とし お うし つ まいにちそうげん くさ た いちねんじゅう
は一頭^②の年老いた牛を連れて、毎日草原へ草を食べさせます。一年中、
うしか うし たはた で い の ら し こと りょうしん きょうだい
牛飼いと牛は田畑に出かけて行って野良仕事をします。両親も兄弟もな
い牛飼いは一人で寂しく暮らしていました。ある日のこと、突然、年老
いた牛が牛飼いに向かって人間の言葉で喋り出したのです。

「ご主人さま、もうすぐ天帝の七人の娘が草原の南の川へ入浴にやっ
て来ますから、あなたはそのチャンスをつかんで彼女達の衣を一枚取っ
て隠しておいてください。そうすれば天女の一人をあなたの妻にするこ
とが出来ますよ。」

うしか うし ことば したが てんによたち く かわ きし べ はやし
牛飼いは牛の言葉に従って、天女達が来るまで川の岸辺の林にこっそり
隠れていました。

牛郎织女

——盈盈一水间，默默不得语

横跨天宇的银河东面有一颗美丽的星辰，西面也有一颗大星星和两颗小星星。人们说，那就是被银河阻隔的织女、牛郎和他们的两个孩子。

相传织女是玉皇大帝的女儿，七姐妹中最小的女儿。据说，她们姐妹都是织布好手，而其中织女最为心灵手巧。此时，在人间住着一个叫牛郎的小伙子。牛郎有一头老牛，他每天都牵着老牛到草原上去吃草。一年到头，都要下地干活。牛郎没有父母，也没有兄弟姐妹，一个人孤苦伶仃地生活。有一天，老牛突然对着牛郎开口说起了人话。

“主人，玉帝的七个女儿马上就要到草原南面的河里来沐浴，你要抓住这个机会，将她们其中一个的衣服藏起来。这样一来，那位仙女就能成为你的妻子了。”

牛郎按照老牛的话，在仙女们到达之前就来到河岸边的林子里悄悄藏了起来。

❶ 「天の川」，名词。银河，天河。

❷ 「年老いた」，上一段自动词「年老いる」。年老，上年纪。

しばらく てんによたち かわ にゆうよく き うし か おりひめ ころも
暫くして天女達が川に入浴にやって来ました。牛飼いは織姫の衣を
て に だ きし べ はやし なか かく おどろ
手にすると、逃げ出して、すぐに岸边の林の中に隠れました。驚いた
てんによたち あわ は し ぶん ころも そら ま あ
天女達は慌てて恥ずかしがって、自分の衣をつけて空へ舞い上がって
てんかい に かえ い かわ きし べ ころも な てんかい
天界へと逃げ帰って行きました。川の岸边には、衣が無くなって天界へ
かえ こと で き おりひめ と のこ
と帰る事の出来なくなった織姫だけが取り残されました。

うし か はやし で かわ おりひめ む ぼく よめ
牛飼いは林から出てきました。彼は織姫に向かって、「僕のお嫁さんにな
てくれるなら、衣を返します」と言いました。機織姫は顔を真っ赤に
して迷っていましたが、ついには牛飼いの嫁になることにしました。

けっこん ご うし か はたけ し ごと せい だ おりひめ はた お かつ たり
結婚後、牛飼いは畑仕事に精を出し、織姫は機を織り、二人はとても
なか よ く ふたり あだ ま ひとり おとこ こ ひとり
仲が良く暮らしていました。二人の間には間もなく一人の男の子と一人
の女の子が生まれました。西王母は娘の無断結婚のことを知って激怒し
ました。かのじょ そっくくてんじん にんげんかい つか だ おりひめ ひ ば
彼女が即刻天神を人間界へ使いに出して、織姫を引っ張って
てんかい つ もど
天界へ連れ戻させました。

うし か むす こ むすめ かご い てんびんぼう かつ てんかい おりひめ
すると、牛飼いは息子と娘を籠に入れ、天秤棒で担ぎ、天界へ織姫
お い せいおう ぼ あたま きん かんざし ぬ せん
を追いかけに行きました。しかし、西王母は頭から金の簪を抜き、線
いっばん ひ おりひめ うし か あだ おお かわ あらわ
一本引きました。すると、織姫と牛飼いの間に大きな川が現れました。
あま がわ あま がわ みず たか ま あ おお なみ つく
それは天の川です。天の川はすでに水を高く巻き上げ、大きな波を作っ
ていました。そこで牛飼いは大きな柄杓で天の川の水を掬い、水をな
くそうと決心しました。息子と娘もその小さな柄杓を使って協力して水
すく
を掬います。

过了不久，仙女们果然来河里沐浴了。牛郎将织女的衣衫拿起来，逃进岸边的林子里躲了起来。仙女们大吃一惊，又羞又慌，纷纷穿上自己的衣衫飞上天空，逃回天庭去了。只留下了没有衣衫而无法回到天庭的织女一人。

牛郎从树林里走了出来。他对织女说：“要是你肯嫁给我，我就把衣衫还给你。”织女满脸通红，不知如何是好，但最终还是嫁给了牛郎。

他们成亲后，男耕女织过得十分幸福美满。不久，两人就生下了一双儿女。可是王母娘娘知道女儿擅自结婚的消息后，怒不可遏。她立即派天兵天将来到人间，将织女押回了天庭。

于是，牛郎将儿女装进箩筐，用扁担挑起来，去天庭追织女了。可是，王母娘娘从头上拔下金簪往他们中间一划，一条天河就出现在了织女和牛郎的中间。那就是银河。此时的银河早已是水波高涌，巨浪滔天。于是，牛郎就用大瓢去舀银河的水，决心要将水舀干。儿子和女儿也拿起小瓢帮着舀水。

③「恥ずかしがって」，五段自动词「恥ずかしがる」。由表示感情的形容词词干加结尾词「がる」而构成。

④「精を出し」，惯用语「精を出す」。努力，打起精神来。

⑤「引っ張って」，五段他动词「引っ張る」。拉，扯，拽。

⑥「天秤棒」，名词。扁担。

⑦「柄杓」，名词。长把勺子，大瓢。

⑧「掬い」，五段他动词「掬う」。掬起，双手捧起，舀，捞取。